



「愛南びやびや祭り 2015」が開催された5月24日、そのメインステージで「愛南愛あい大使」の交代式が行われました。4代目愛あい大使を襲名したのは、山岡由菜さん(写真右端)と羽田なつきさん(右から2番目)で、町観光協会の山下常臣会長(中央)から委嘱状が授与された後、3代目大使の山本翔子さん(写真左端)、山田(旧姓：面地)麻由実さん(左から2番目)からタスキを受け取りました。



5月14日に東海小学校で、15日には緑小学校で、「ほっと計画委員会(河野満代表)」などが主催する「劇団風の子」の公演が行われ、児童たちは、劇団員によるリズムカルで愉快的な演出を楽しみました。



船越地区の旧西海有料道路沿いで、春の全国交通安全運動(実施期間5/11～20)の一環として「交通茶屋」が実施され、船越小学校の新生徒5名と2年生4名が参加しました。児童は、道ゆくドライバーに交通安全啓発物資を手渡し、「交通ルールを守って安全運転をお願いします」と笑顔で交通事故防止を呼びかけました。(5/18)



御荘湾の片の浜で、南宇和ライオンズクラブ(佐々木史仁会長)主催によるボランティア清掃が行われました。10年目を迎えた今回、24団体約170名が参加して、干潟や護岸に流れ着いたゴミなどを拾い集めました。(5/31)



道の駅「みしょう MIC」に、愛南町ご当地キャラクター「な-しくん」のイラストをラッピングしたアサヒ飲料の自動販売機が登場しました。今年も「ゆるキャラグランプリ」にエントリーしている「な-しくん」のPRに一役買いそうです。(6/12)



あんなことや、こんなこと

TOWN PLANT

写真 4
6/ 9 新しいご当地
グルメを考えよう

愛媛の伝統料理やご当地グルメを楽しく学ぶ「エヒメシ!出張講座」(NPO法人eワーク愛媛(新居浜市)主催)が南宇和高校で行われました。講座には同校農業科の2年生27名が参加して、愛南町をはじめとする県内の食に関する「ミニ検定」などを通して地元の食について理解を深めました。

このほか、宇和島市の遊子漁協女性部部長で、ご当地グルメマイスターの山内満子さんによる講義も行われました。

写真 5 写真 6

5/ 17 サイクリングの輪を広げよう

自転車で巡りながら愛南町の豊かな自然と食、お接待の文化を体感してもらおうと、愛南サイクリング愛好会(粉川洋幸会長)が「第3回ツール・ド・あいなん」を開催しました。

県内外148名のサイクリストが参加した大会は、山出憩いの里温泉を発着地に高茂岬を回る75kmコース、高茂岬から篠山を経由する110kmコースで行われ、選手は4か所のチェックポイントで、ボランティアスタッフから振る舞われるカツオの刺し身や愛南ゴールドの生搾りジュースなどの「お接待」で疲れを癒しながら高低差の激しい難コースを疾走しました。

本日!海日和!! vol156 「星に願いを」



ベニアミメジューズベリヒトデ

笹の飾りつけも終わり、七夕の夜が晴れたらいいなと願っている子どもたちも多いのではないだろうか。愛南町は海だけでなく星空も美しい。ダイビングの後は、グラスを傾けながら星を見上げるのも楽しみの一つである。

星の形は★と描くが、これはヒトデの形からきているらしい。ヒトデは漢字で「海星」と書き、英語ではstarfish(星の魚)、ドイツ語ではSeesterne(海の星)、フランス語でもétoile de mer(海の星)と呼ばれている。国を問わず、人々はヒトデから星を連想するようである。

写真のベニアミメジューズベリヒトデ(舌を噛みそう...)は、とても美しいオレンジ色をしていた。おまけにオレンジ色の海綿に乗っていたので、両者の色彩がおもしろくて思わずパチリ。

流れ星はアツという間に消えてしまうが、ヒトデは動きもゆっくりで、消えてしまうこともない。今度ヒトデを見つけたら写真を撮る前に願い事でもしてみよう。

(撮影地:鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照



左から2番目が福岡義人実行委員長

写真1
5/ 27 水の事故をなくそう

海や川での事故を防止しようと、東海小学校で全校児童24名が参加して「水の事故防止教室」が行われ、愛南署や町消防署、御荘B&G海洋センターの職員が実演を交えながら、水中で溺れそうになったときの対処方法などを指導しました。

教室では、児童が服を着たまま校内のプールに入り、あおむけで救助を待つ「背浮き」の練習をしたり、友達が溺れたときの注意点を教わったりと、水辺で遊ぶ機会が多くなる季節を前に、児童たちは真剣な表情で学習に取り組みました。

写真2
6/ 2 ゴルフを通じて地域に貢献

『ゴルフを通じて地域に貢献したい』との思いで毎年開催され、19回目となる「一本松チャリティーゴルフ大会」(5/17、四万十市)で集まった寄付金の贈呈式が、一本松地区の福岡内科外科医院で行われました。

贈呈式では、福岡義人大会実行委員長から、障害児の親の会「ありんこくらぶ(宮崎和友会長)」に20万円、町教育委員会と町内保育所・幼稚園に図書カード10万円分の目録がそれぞれ手渡されました。

写真3
6/ 8 愛南に元気を！知事と意見交換

地域の意見・要望を県政に反映させていくため、知事が地域に出かけ、地域住民と気軽に意見交換を行う「知事とみんなの愛顔(えがお)でトーク」が御荘文化センターで開催されました。

本町からは町認定農業者協議会の会長などを務める河野仁さんと久良漁協の竹田英則組合長、愛南マリンイベント実行委員会の松下彩子さんが参加して、第一次産業の振興や観光客誘致について中村時広知事と意見交換しました。